

主催 / 早稲田大学文化構想学部 文芸・ジャーナリズム論系

共催 / 早稲田大学文化推進部

多和田葉子・高瀬アキ パフォーマンス&ワークショップ

Yoko Tawada / Aki Takase Performance & Workshop

- Performance -

11/14thu. 18:30-20:30

魔

- 時間の消えた島 -

- Workshop -

11/15fri. 16:30-18:30

言葉と音楽 Vol.4

2013 11/14thu. - 15fri.

早稲田大学 小野記念講堂

入場無料・申込不要・全席自由・未就学児不可

お問い合わせ

文化構想学部 文芸・ジャーナリズム論系 松永美穂研究室 03-5286-3637

文化企画課 03-5272-4783(月～金 9:00-17:00) art-culture@list.waseda.jp

多和田葉子・高瀬アキ

パフォーマンス&ワークショップ

ベルリン在住の作家・多和田葉子とジャズピアニスト・高瀬アキによる本企画は2010年より4回目。多和田葉子のテキスト朗読と高瀬アキの即興ピアノで言葉と音楽のコラボレーションの可能性を探る。多和田葉子は芥川賞・谷崎潤一郎賞・泉鏡花賞、野間文芸賞、早稲田大学坪内逍遙大賞などを授与された、本学卒業の日本語作家であると同時に、ドイツ語でも創作を続け、ゲーテメダルなどを受賞している。高瀬アキはアメリカやヨーロッパで活躍を続けるコンテンポラリージャズの第一人者で、自ら作曲も手がける。

- パフォーマンス -

魔 - 時間の消えた島

11月14日(木) 18:30-20:30 (開場 18:00)

トマス・マンの「魔の山」は、第一次世界大戦開戦前夜、スイス山中のサナトリウムに入院中の従兄を見舞ったハンス・カストルプが、サナトリウムに流れる不思議な時間の網の目に絡め取られてしまう話だ。地震・津波・原発事故を経て、気が遠くなるような放射性物質の半減期を知ったわたしたちは、自宅にいながら、これまでとは違う時間のなかに入れられてしまったのではないか。消えてしまった「いま・ここ」をめぐって投げかけられる、ベルリンからの問い。

- ワークショップ -

言葉と音楽 Vol.4

11月15日(金) 16:30-18:30 (開場 16:00)

多和田葉子「動物たちのバベル」(「すばる」2013年8月号)を使い、自分たちで新たに動物たちの会話を創りだしてみる。

交通アクセス

- ・山手線 / 西武線
(高田馬場 徒歩 20 分)
- ・地下鉄東京メトロ
(東西線 早稲田駅 徒歩 5 分)
(副都心線 西早稲田駅 徒歩 17 分)
- ・学バス
(高田馬場ー早大正門 徒歩 1 分)
- ・都バス
(新宿西口ー早稲田 渋谷駅ー早大正門
上野広小路ー早稲田 徒歩 3 分)
- ・都電
(三ノ輪橋ー早稲田駅 徒歩 5 分)

